

## 若手クラブ仕事人の夢メッセージ

### 廣澤玲緒さん

#### 1. 地域と子供達への思いからクラブへ

小学校から大学までサッカー一筋できた熱血青年「ウィンズスポーツクラブ」クラブマネジャーの廣澤玲緒(ヒロサワレオ)さん(32歳)を紹介します。

廣澤さんが住んでいる八戸市・白山台地域は高台にあり、1982年にニュータウンとして開発が始まりました。その後、白山台エリアの周辺人口もどんどんと増えていき、1995年に八戸市内で最大の規模となる新設の小学校ができたのが地域に携わるきっかけとなります。



新しい小学校では部活動と学校は切り離すということで、地域のために何かしたいと思っていた廣澤さんは小学校でサッカーの指導を始めます。しかし、すぐに怪我をしてしまう子や、よく言われている体力の低下、そしてスポーツをまったくしない子どもの多さという現代っ子を目の当たりにしてショックを受けます。

このままでは駄目だと感じ、どうするべきか常々考えながら10年以上指導を続けて、それなりの信頼が得られてきたところへ、八戸市のスポーツ振興課から総合型地域スポーツクラブに取組んでみてはどうかと勧められました。

問題解決の糸口を探していた廣澤さんは、即断で「やるしかない」と決意します。しかし既に八戸市内には他にも総合型クラブがあったため、日本体育協会から特別支援を1年だけという短い準備期間で平成21年3月に設立しました。

現在は、クラブマネジャーとして午前中9時には事務所にいき、10時には保育園へコーディネーション教室の巡回指導、午後には事務所に戻り事務処理、15時には子ども達の送迎、16時にはクラブの指導、18時半から子ども達の送迎とクラブ漬けの多忙な毎日をおくっています。

#### 2. 高齢者も参加できるクラブへとあせりすぎて

総合型クラブとしてスタートしたものの、幼児・小学生を中心とした活動が続く中で、成人や高齢者にも参加してもらえるクラブにしたいという思いが日増しに強くなっていきます。

子ども向けのコーディネーション教室で体力の向上など良い結果が得られていることから、地域の高齢者にもっと元気になってもらいたいと「さわやかコーディネーション教室」を企画します。プレ体験を行った際には、地元のシルバークラブの協力で参加人数も多く、教室に自信をもった廣澤さんは早速会場を押さえてしまいます。

ところがシルバークラブとの調整が上手くいかず、教室の申込締め切り1週間前に何とかチラシを配り、結局参加者3人という大失敗をしてしまいました。最初からシルバークラブがチラシの配布や参加者募集の呼び掛けなどを手伝ってくれるものと思っていた廣澤さんには、改めて話し合いの大切さを認識させられる“ほろ苦い”経験となりました。

### 3. 新たな発想で

八戸市は、サッカーのクラブチームが他にもあり盛んな地域です。サッカーだけでなく総合型クラブとしての特色をだすために、ウィンズスポーツクラブでは県内初で唯一のチアリーディング教室を始めました。

子ども達には楽しくダンスを覚えてもらうだけでなく、機会を見つけて地域イベントなどに積極的に社会参加してもらい、その中で社会性や地域貢献をすることを学び、クラブの認知度も相乗効果としてあがってくればいいと思っています。

また、保育園で行っているコーディネーション教室も好評で、来年は訪問する保育園も増やしたいと考えていています。指導している子ども達の中から将来有望なスポーツ選手がでることがあればと、どんどんと夢が膨らみます。



#### 【廣澤玲緒氏プロフィール】

日本体育協会公認アシスタントマネジャー  
日本体育協会公認指導員  
日本サッカー協会 C級コーチ

(佐藤龍哉 青森県クラブ育成アドバイザー)

#### 【ウィンズスポーツクラブ プロフィール】

1. 設立 平成 21 年 3 月
2. 人口 八戸市 24 万人、白山台地域 2742 世帯 7800 人
3. クラブ 会員数：130 名  
予 算：710 万円  
特 徴：小学校との連携

#### 4. 連絡先

〒013-0031 青森県八戸市番町 3 308 号  
TEL：0178-71-1117  
E-mail：info@winsfc.com  
HP：<http://www.winsfc.com/>

関連リンク: 佐藤龍哉氏プロフィール(ページ下)

<http://www.japan-sports.or.jp/local/outline/adviser/2.html>